

都立野津田高等学校 令和3年度 教科(福祉) 科目(社会福祉基礎) 年間指導計画

教科:(福祉) 科目:(社会福祉基礎) 単位数:(2)単位 対象:(第2学年4組)

使用教科書: 7実教 福祉301「社会福祉基礎」

使用教材: 最新・介護福祉士養成講座 社会と制度の理解(中央法規) 介護福祉用語辞典 社会福祉小六法

	指導内容	科目・社会福祉基礎の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1 社会保障制度 (1) 社会保障制度の基本的な考え方 1. 社会保障制度のイメージをつかむ 2. 社会保障制度の意義と役割 3. 社会保障の目的と機能 4. ライフサイクルからみた社会保障	社会保障制度の概要や目的を理解すると共に、日本の社会保障制度を歴史から考察することができる。	小テスト ワークシート 課題プリント 授業態度	6
5月	1 社会保障制度 (2) 日本の社会保障制度の発達 1. 社会保障制度を学ぶ意義 2. 日本国憲法と社会保障 3. 戦後社会と社会保障の基礎整備 4. 国民皆保険・皆年金の確立 5. 社会保障の拡充(福祉六法の時代) 6. 社会保障の見直し 7. 介護保険と福祉の考え方の変化 8. 社会保障改革	社会保障制度の概要や目的を理解すると共に、日本の社会保障制度を歴史を理解ができる。	小テスト ワークシート 課題プリント 授業態度 筆記考査	6
6月	1 社会保障制度 (3) 日本の社会保障制度のしくみ 1. 社会保障を支えるもの 2. 社会保障の実施体制 3. 社会保障のしくみ 4. 社会保障制度の体系 5. 年金保険 6. 医療保険 7. 介護保険 8. 雇用保険と労働者災害補償保険 9. 各種社会扶助	社会保障制度の体系的な制度の「社会保険」について理解することができる。各種のサービス内容について一つずつ説明し、イメージを膨らませてもらい、介護実習の経験を取り入れてながら理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	8
7月			小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	4
8月				
9月	1 社会保障制度 (4) 現代社会と社会保障制度 1. 少子高齢化の進行と社会保障 2. 財政問題と社会保障 3. 社会保障における給付と負担の関係 4. 持続可能な社会保障制度への道	少子高齢化によって社会保障制度が受ける影響について理解ができる。社会保障制度を支える負担と給付について理解ができる。持続可能な社会保障制度について考察することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	6
10月	2 高齢者保健福祉と介護保険制度 (1) 高齢者保健福祉の動向 1. 高齢者保健福祉に関する歴史 2. 人口の高齢化と高齢者保健福祉 3. 高齢者の健康保持と社会参加 4. 高齢者保健福祉における今日的課題と展望 (2) 高齢者保健福祉に関する法体系 1. 高齢社会対策基本法 2. 老人福祉法 3. 高齢者の医療の確保に関する法律	年金制度における被保険者や被保険者が支払う保険料、国民年金(基礎年金)、被用者年金の区分の仕方等を理解するとともに、社会との関係性についても考察することができる。	小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	4
11月	2 高齢者保健福祉と介護保険制度 (3) 介護保険制度 1. 介護保険制度創設の背景と目的 2. 介護保険制度のしくみの基本的理解 3. 介護保険制度における組織、団体の役割 4. 介護保険制度における介護支援専門員の役割 5. 介護保険制度の動向	介護保険制度がなぜつくられたのか背景と目的を理解することができる。介護保険制度を運営するしくみや現在の動向を理解することができる。介護保険制度を支える組織や団体、専門職を理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	8
12月			小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	6
1月	3 障害者保健福祉と障害者総合支援法 (1) 障害者保健福祉の動向 1. 障害者福祉の現状 2. 障害者福祉の歴史 3. 障害者福祉の動向 (2) 障害者保健福祉に関する法体系 1. 障害者保健福祉の法律 2. 障害者の法的定義 3. 障害児に対する支援制度	障害者福祉制度における障害概念について理解をすることができる。障害者福祉における理念について、その背景をふまえて考察することができる。歴史をふまえながら障害者福祉の動向について理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	6
2月	3 障害者保健福祉と障害者総合支援法 (3) 障害者総合支援法 1. 障害者総合支援法創設の背景および目的	自立支援給付と地域生活支援事業を理解することができる。障害者総合支援法の利用手続きを理解することができる。障害者の生活を支える相談支援の重要性を理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度	8
3月	4 介護実践に関する諸制度 (1) 個人の権利を守る制度・施策 (2) 保健医療に関する制度・施策 (3) 貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策 (4) 地域生活を支援する制度・施策	個人の権利を守る制度・施策を理解することができる。保健医療に関する制度・施策を理解することができる。貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策を理解することができる。地域生活を支援する制度・施策を理解することができる。	小テスト ワークシート 授業態度 筆記考査	8

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(介護福祉基礎) 年間指導計画

教科:(福祉) 科目:(介護福祉基礎) 対象:(第2学年4組)

使用教科書: 7実教 福祉302「介護福祉基礎」

使用教材: 新・介護福祉士養成講座 介護の基本 I・II(中央法規) 介護福祉用語辞典 社会福祉小六法

	指導内容	科目・(介護福祉基礎)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・ 時数
4月	1介護福祉の担い手 (1) 介護従事者をとりまく状況 ①介護福祉士の養成 ②介護人材の確保と定着 ③介護従事者のキャリアアップ研修	介護福祉士誕生のきっかけとなった社会的背景を理解する。また、資格の取得方法や養成の現状について理解する。 国民の福祉サービスに対する需要の増大に対応するためには、介護福祉人材をどのように確保し、職業として定着させていくことができるかを理解する。さらに、EPAとも関連付けて考察する。 介護従事者がキャリアアップをしていくための具体的な方策について理解する。また、自己研鑽の必要性について理解する。	介護従事者をとりまく状況について理解できる。 課題プリント	6
5月	(2) 介護従事者の役割 ①介護の役割、介護福祉士の役割 ②在宅介護従事者の役割 ③施設介護従事者の役割	介護の役割について考察する。また、介護の担い手である介護福祉士に求められる資質と、専門性の確立の必要性について理解する。 在宅介護の特性、施設との介護の違いを理解する。専門職者としての在宅介護への関わり方について考察する。 施設介護の特性、在宅との介護の違いを理解する。専門職者としての施設介護への関わり方について考察する。	介護従事者の役割が理解できる。 課題プリント	5
6月	2 介護福祉サービスの概要と連携 (1) 介護サービスの概要 ①介護サービスの利用方法 ②介護サービス提供の場の特性(在宅) ③居宅介護サービス(福祉系) ④居宅介護サービス(医療系)	介護保険制度のサービス利用までの流れ、ケアマネジメントについて理解する。 在宅サービスの役割、特徴を理解する。 居宅介護サービスの必要性を考察する。また、各種の居宅介護サービスについて理解する。 居宅介護サービスにおける医療の役割を理解する。また、各種の医療系の居宅介護サービスについて理解する。	介護福祉サービスの概要が理解できる。 課題プリント	8
7月	⑤介護サービス提供の場の特性(施設) ⑥施設サービス ⑦障害者支援サービス	施設サービスの役割や特徴について理解する。 施設サービスの制度化の背景を理解する。また、施設サービスを提供する施設の種類を理解する。 障害者自立支援法の概要と、サービス内容、サービス利用の手続きについて理解する。	施設サービスの特性が理解できる。 レポート、筆記考査	5
8月				
9月	①専門職間による有機的な連携 ②在宅生活を維持するための地域連携の考え方	障害者支援サービスの実際を、事例をとって理解する。 介護に関わる様々な職種について理解し、チームケアの目的と意義について考察する。 医療も必要とする要介護者の実態を理解するとともに、医療従事者との連携について考察する。 介護支援専門員の役割を理解し、ケアチームの目的、意義、効果について考察する。	介護における実際の連携内容や方法が事例から考察できる。 レポート	6
10月	④介護従事者とボランティアとの連携 3 介護における安全確保と危機管理 (1) 介護における安全確保と事故対策 ①介護におけるリスクマネジメント	ボランティアの役割、介護従事者との協働について理解する。 福祉施設で想定されるリスクとマネジメントの方法を理解する。また、介護事故の特性と対応の基本について理解する。	ボランティアの役割が理解でき、介護従事者との協働のあり方を考察できる。 レポート 筆記考査	8
11月	②事故予防対策 ③転倒・転落事故 ④身体拘束の禁止について ⑤防災対策	介護の現場で起こる事故の要因を考察する。また、事故の分析と対応、組織としての事故防止対策について考察する。 高齢者に多い転倒、転落と骨折の関連性について理解し、転倒、転落事故の要因と対策について考察する。 身体拘束が原則禁止となった背景を理解し、身体拘束をしない介護の3つの原則について考察する。また、やむを得ず身体拘束をする場合の手続きについて理解する。 福祉施設における防災対策の実際を理解し、介護従事者にとっての防災対策の重要性を理解する。	事故の原因や内容について理解し、事故防止について考察できる。 レポート	8
12月	(2) 感染症対策 ①感染症の理解 ②感染症の予防対策 ③介護現場で出会うことの多い感染症 (3) 介護従事者の健康管理 ①健康管理の重要性	感染症とは何か、また、発病するまでのプロセスを理解する。感染症に対する法律から、国の感染症対策について理解する。 感染症を予防するための方法を考察するとともに、予防接種をもとに予防のための実際について理解する。また、介護施設における感染症対策や感染管理の必要性について理解する。 疥癬、インフルエンザ、ノロウイルス性食中毒、腸管出血性大腸菌感染症等の代表的な感染症の原因、感染経路、症状について理解し、感染対策について考察する。 介護従事者の自己の健康管理の大切さを理解し、その方法を理解する。	感染症について理解し、予防対策の具体的な方法が分かる。 レポート、筆記考査	6
1月				6
2月	②心の健康管理 ③からだの健康管理	燃え尽き症候群やうつ病をとって、介護とストレスについて考察する。また、介護従事者としてのメンタルヘルスクアの必要性について理解する。 介護従事者自身の身体を守るための健康管理の具体的な方法について理解する。	介護従事者の健康管理の重要性や方法を理解できる。 レポート	8
3月	④労働安全衛生に関する知識 ⑤家族介護者の健康	介護従事者の権利保障として、根拠となる法律を把握する。また、重量物の取り扱いに関する留意点、介護機器の有効活用について理解する。 家族の介護負担を軽減するための支援事業について、事例をとって理解する。	労働安全衛生について理解できる。 レポート、筆記考査	4

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画
 教科：（福祉）、科目 介護過程） 単位数（2単位）
 対象学年組：第2学年4組
 使用教科書： 7実教 福祉306「介護過程」
 使用教材： 最新・介護福祉士養成講座9「介護過程」中央法規

	指導内容	科目（介護過程）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	家庭学習 1 介護過程の意義と目的 (1) 介護過程とは (2) 介護過程の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程とは何かを理解する ・介護の目的を果たすために介護過程が必要であることを理解する ・介護過程の意義を理解する 	レポートおよび課題	6
5 月	家庭学習 (3) 介護過程の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的を理解する。 ・介護実習における介護過程の展開を理解する。 	レポートおよび課題	5
6 月	1 介護過程の意義と目的 (1) 介護過程とは (2) 介護過程の意義	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程とは何かを理解する ・介護の目的を果たすために介護過程が必要であることを理解する ・介護過程の意義を理解する 	介護過程のプロセスが理解できたか。 レポート	8
7 月	(3) 介護過程の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的を理解する。 ・介護実習における介護過程の展開を理解する。 	介護過程と生活支援の関連が理解できたか。 レポート 定期考査	5
8 月	(4) 介護過程のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程のプロセスを理解する ・介護実習の展開の基本的視点を理解する 	介護過程のプロセスが理解できたか。 レポート	4
9 月	(6) ICFの視点に立った 介護過程	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFの重要性を理解する。 ・ICFを理解する。 ・ICFの視点からアセスメントすることの意義を理解する。 	ICFの視点を理解できたか。 介護過程におけるICFの重要性が理解できたか。 レポート	6
10 月	(6) ICFの視点に立った 介護過程	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFの視点からアセスメントする方法を理解する。 	介護過程におけるICFの重要性を理解し、思考方法を身に付けたか。 レポート・定期考査	6
11 月	(6) ICFの視点に立った 介護過程	<ul style="list-style-type: none"> ・ICFの視点からアセスメントする方法を理解する。 	介護過程におけるICFの重要性を理解し、思考方法を身に付けたか。 レポート	6
12 月	(7) 介護過程のアセスメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの手順や方法を理解する。 	介護過程におけるアセスメントの方法が理解できた。 レポート 定期考査	6
1 月	(8) 介護過程の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画立案の手順や方法を理解する。 	介護過程における計画の立案の方法が理解できた。 レポート	6
2 月	(9) 介護過程の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法や留意点を理解する。 	介護過程における実施の方法が理解できた。 レポート	6
3 月	(10) 介護過程の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の目的や意義を理解する。 ・評価方法を理解する。 ・評価の生かし方を学ぶ。 	介護過程における評価の方法が理解できた。 レポート 定期考査	6

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(生活支援技術(医ケアを含む)2) 年間指導計画

教科:(福祉) 科目:(生活支援技術(医ケアを含む)) 対象:(第2学年4組)

使用教科書:7実教福祉303「生活支援技術」

使用教材:新・介護福祉士養成講座7生活支援技術Ⅱ・14こころからの理解・15医療的ケア(中央法規)
介護福祉用語辞典・介護福祉士国試ナビ(中央法規)・介護福祉用語辞典(中央法規)・介護用語ハンドブック(ナツメ社)

	指導内容	科目・(生活支援技術(医ケアを含む))の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月	1 医療的ケア実施の基礎	◎医行為とはどのようなことか、法的理解を学ぶ。 ◎喀痰吸引等制度と「医療的ケア」について学ぶ。	ワークシート 授業態度 実技テスト	9
5月	2 生活支援とリハビリテーション	◎生活の構築をリハビリテーションの視点から学ぶ。 ◎生活支援の目標をどのように設定していくか学ぶ。 ◎生活評価の視点を考察する。	ワークシート 授業態度 実技テスト	12
6月	3 住環境の整備 (1) 住環境の整備の意義と目的 (2) 安全で快適な生活の場づくり	◎環境の整備とは何か、意義と必要性を理解する。 ◎住まいの多様性を学ぶ。 ◎安心して快適な室内環境の確保について学ぶ。 ◎集団生活の場における、生活の継続性のための視点を学ぶ。 ◎環境問題について理解する。 ◎環境整備のアセスメントの視点を学ぶ。	ワークシート 授業態度 実技テスト	9
7月	3 住環境の整備 (3) 他職種の役割と共働	◎住環境の整備に係る職種とその役割について学ぶ。 ◎チームのあり方を学ぶ。	ワークシート 授業態度 実技テスト 筆記考査	10
8月				
9月	4 家庭生活にかかわる基本知識 (1) 家庭生活の理解 (2) 家庭生活の営み	◎家庭のなかで営まれる生活の構成要素を理解する。 ◎高齢者や障害者の家庭の経済を理解し、その維持に必要な知識の理解を図る。	ワークシート 授業態度 実技テスト	12
10月	(2) 家庭生活の営み	◎食生活の支援に必要な知識と技術を養う。 ◎健康的な生活や文化的社会的な生活を営む上で被服の果たす役割を理解し、その管理について学ぶ	ワークシート 授業態度 実技テスト 筆記考査	10
11月	(2) 家庭生活の営み	◎食生活の支援に必要な知識と技術を養う。 ◎健康的な生活や文化的社会的な生活を営む上で被服の果たす役割を理解し、その管理について学ぶ	ワークシート 授業態度 実技テスト	15
12月	4 家庭生活にかかわる基本知識 (1) 家事支援の意義と目的 (2) 家事支援における介護技術	◎生活を継続していくための家事の重要性を理解する。 ◎家事支援の意義を理解する。 ◎家事支援とは何か具体的に理解する。 ◎在宅サービスにおける家事支援のアセスメントの視点と支援の実際を理解する。	ワークシート 授業態度 実技テスト 筆記考査	12
1月	(2) 家事支援における介護技術	◎家事支援とは何か具体的に理解する。 ◎在宅サービスにおける家事支援のアセスメントの視点と支援の実際を理解する。	ワークシート 授業態度 実技テスト	6
2月	(3) 他職種の役割と共働	◎家事支援におけるチームケアの意味を理解する。 ◎他職種と連携の必要性を考察する。	ワークシート 授業態度 実技テスト	6
3月	(4) 緊急時の対応の知識と技術	◎高齢者に起こりやすい主な事故とその予防の視点について理解する。 ◎緊急時における連携の在り方について考察する。	ワークシート 授業態度 実技テスト 筆記考査	4

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(こころとからだの理解) 年間指導計画

教科:(福祉)科目:(こころとからだの理解) 対象:(第2学年4組)

使用教科書 : 7実教 福祉304「こころとからだの理解」

使用教材 : 新介護福祉士養成講座(11巻・12巻・13巻・14巻) 介護福祉士国試ナビ(中央法規) 介護福祉用語辞典

	指導内容	科目・(こころとからだの理解)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・ 時数
4月	1 人間の成長と発達 ①発達概念の理解 ②発達段階と発達課題 ③発達と個人差	・具体的な老年期の実態理解の前に、人間が発達するというものの全体像を理解することで、ライフステージごとの発達課題を理解する。 ・発達の個人差を理解することで老年期における個別ケアにつなげる。	課題プリント	4
5月	2 老年期における発達と成熟 ①老年期の人格について ②サクセスフルエイジング 3 老化に伴う心身面の変化 ①老いの価値観 ②老年期の精神障害 ③要介護者の心理状態 ④生理機能の低下	・老年期における環境の変化や心理面、身体面の変化が人格や行動にどのような影響を与えるのかを理解する。 ・要介護状態にある方と自立度の高い方との心理状態の違いから多様な実態があることを理解する。	課題プリント	10
6月	4 高齢者に多い症状、訴え 5 高齢者に多い疾患と特徴 6 保健医療職との連携	・高齢者が訴えることの多い症状について理解することで、疾患を発見する視点を持ち、保健医療職との連携について考える。 ・医療職等他分野の専門職との連携を考える。	高齢期に多い疾患の症状や特徴を理解できる。 小テスト レポート提出	10
7月			期末考査実施	2
8月				
9月	7 認知症の 医学・行動・心理理解	・認知症とはどのような疾患であり、症状であるのかを理解する。 ・B P S D等の認知症の人の行動特性を理解する。 ・認知症の人の心理状態を理解し、基本的な対応方法について考察する。	認知症の分類やケアの歴史、生活について理解できる。 小テスト 中間考査実施	5
10月	8 認知症ケアの歴史 9 認知症の人の生活理解	・認知症の人の尊厳を考える視点から歴史的な変遷を振り返り、「自立」と「尊厳の保持」を達成できる介護につながる価値観を身に付ける。 ・認知症の人が直面する生活上の課題を理解し、支援の必要度について理解する。		5
11月	10 認知症の人への介護方法 11 認知症の人の家族支援と生活する地域支援 12 認知症の人への制度	・認知症が本人だけの問題ではなく、家族の生活にも大きな影響を与える疾患であることを理解する。 ・認知症の人が爆発的に増加することから地域での支援や、認知症の人へのサービスや制度について理解する。	認知症の人を取り巻く家族や地域、制度について理解できる。 レポート 小テスト	13
12月	13 介護福祉士国家試験対策	・国家試験過去問題について傾向と対策と立てることで、1月に受験する国家試験の学習とする。	国家試験問題模擬テスト レポート 期末考査実施	10
1月	14 障害のある人への 障害特性の理解と支援方法 ①知的障害 ②身体障害 ③精神障害 ④発達障害 ⑤高次脳機能障害	・各障害の障害特性や原因となる疾患について理解する。 ・障害特性を理解することで支援方法について考察する。	レポート	4
2月			レポート	4
3月	医療職との連携ポイント	・他職種との連携・かかわりについて、理解する。	レポート 期末考査実施	3

都立野津田高等学校 令和3年度 年間授業計画
 教 科：（福祉）、科目（介護総合演習） 単位数：（1）単位
 対象学年組：第2学年4組
 使用教科書：なし
 使用教材：最新・介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」 介護福祉用語辞典・社会福祉省六法

	指導内容	科目（介護総合演習）の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	施設の概要	・それぞれの施設について、根拠法、概要等をレポートにまとめる	プリント提出 ワークシート	2
5月	家庭学習 実習のマナー 正しい日本語 電話のかけ方	・それぞれの課題について取り組む	プリント提出 ワークシート	3
6月	1 実習について	・実習ⅠとⅡの違いを理解する。 ・2年生の実習やその事前学習、事後学習の流れを理解する。	レポート ワークシート	3
7月	2 実習の準備（Ⅰ期）	・2年生の実習の目的やねらいを理解する。 ・実習の注意事項がわかる。 ・実習先の準備ができる。 ・実習の目的を理解できる。	定期考査 ワークシート	3
8月	3 2年生の実習事後指導	・実習レポート作成	レポート	2
9月	3 2年生の実習事後指導	・実習レポート作成	レポート	3
10月	2 実習の準備（Ⅰ期）	・2年生の実習の目的やねらいを理解する。 ・実習の注意事項がわかる。 ・実習先の準備ができる。 ・実習の目的を理解できる。	レポート	3
11月	3 2年生の実習事後指導	・実習レポート作成	レポート ワークシート	4
12月	3 2年生の実習事後指導	・実習レポート作成	レポート ワークシート	3
1月	4 実習のまとめと反省	・実習の成果と課題を理解できる。 ・実習の成果と課題を文章で的確に表現できる。	レポート ワークシート	3
2月	4 実習のまとめと反省	・実習報告会で自分の実習の成果と課題を発表できる。	レポート ワークシート	3
3月	4 実習のまとめと反省	・2年生の実習の課題を考察できる。	レポート ワークシート	3

都立野津田高等学校 令和3年度 科目(介護実習) 年間指導計画

教科:(福祉) 科目:(介護実習) 対象:(第2学年4組)

使用教科書 :新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習

使用教材 :介護福祉用語辞典・社会福祉小六法

	指導内容	科目・(介護実習)の具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定・時数
4月				
5月				
6月				
7月				
8月	実習 I	高齢者施設 または 障害者施設での実習を通して、利用者の理解を深める。 介護の実際を経験し、必要な知識や技術が理解できる。 自分の介護技術を確認する。 利用者の理解の方法を考察する。	実習先からの評価 (1/2/3/4/5)と事後提出のレポート、実習日誌等を 勘案して評価する。	10日
9月				
10月				
11月	実習 I	高齢者施設 または 障害者施設での実習を通して、利用者の理解を深める。 介護の実際を経験し、必要な知識や技術が理解できる。 自分の介護技術を確認する。 利用者の理解の方法を考察する。	実習先からの評価 (1/2/3/4/5)と事後提出のレポート、実習日誌等を 勘案して評価する。	9日
12月				
1月				
2月				
3月				